

平成 26 年第 3 回市議会定例会における主な課題と対応

総 務 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
【一般質問(吉岡議員)】 1 本市の国際交流の取り組みの活性化について	①現在、台湾、東南アジアなどからの団体ツアー客の誘致など外国人との交流を進めているが、<u>他市の取組状況も参考にしながら今後の対応を検討する。</u> ②他市は、<u>法人組織が取り組む国際協力で、市民と行政が協働で研修事業等を行っている</u>ので、<u>他市の取組状況も参考に</u>して、<u>関係団体や機関などと連携を図り、今後の対応を検討する。</u>	H27 当初予算編成に向けて ①他市の取組状況の調査 ②市内法人組織等との情報交換を行う。
【一般質問(倉本議員)】 1 地域の活性化のため、ひとづくりや多様な人材のネットワーク化を図ることについて	①サテライト・キャンパスでのひとづくりにおいて、具体的な成果を得るため、適宜、3 大学からの協力を得ることが必要であり、引き続き、<u>サテライト・キャンパスの成果を総括する場を設けるなど、さらなる市民の交流が図られるようネットワークの構築に向けて、検討する。</u> ②協働の仕組みづくりでは、市民の積極的で意欲あるまちづくりを促すためには、様々な情報をまちづくりに関わる人たちが共有することが重要であり、<u>市民、民間団体、行政などの多様な主体による協働が活性化されるよう、情報の共有化、意思の疎通を図る。</u>	①3 大学との検討会 (H26. 11 月、H27. 3 月) 成果発表会・交流会 (H27. 2 月) ②協働の(仕組み)事例を市民・団体等に紹介、PR し、情報の共有化を行い、認識を高めていただく。
2 社会保障・税番号制度導入に関する市民への周知について	<u>広報紙メロディーや公式サイト、自治組織代表者会議、まちづくり地区懇談会、まちづくり出前講座</u>などを通じて、ていねいな説明に努める。	国…H26 秋を目途として、地方公共団体、税務署、年金事務所、ハローワークなどの公的機関へポスターを配布、10/1 コールセンター設置予定。 市…H27. 10 月からの番号通知に向けて、4～9 月の間に自治組織代表者会議やまちづくり地区懇談会が開催出来ない場合においては、企画課で市民説明会を開催、説明するとともに、広報紙メロディー、HP 等で周知する。

3 行政システムの操作職員や委託業者への個人情報セキュリティの重要性を認識させることについて	①全職員を対象に個人情報保護に関する研修や住基端末を操作する職員への新たな情報セキュリティ研修の追加など行う。②委託業者(BMC)からの業務報告書の確認や適正なデータ処理など、必要な指導を随時行い、企業のコンプライアンスの確立を求めている。	① 住基端末操作職員を対象(12 課 26 システム、正 97 名、嘱 21 名、臨 9 名)とした、地方公共団体情報システム機構の e ラーニングによる情報セキュリティ研修を実施(職員研修、職専免、26.10/14~12/26 の 2~5 時間) ② 10 月から実施。 9/29 朝会議で説明済
【一般質問(土井議員)】 1 人口減少対策として、庁内職員のみならず市民も巻き込んだ検討を行うべきではないか	人口減少による財政状況への影響も考慮しながら、地方創生に対応した基本的な考え方や具体的な取り組みなどを市民と市職員で構成する美唄未来会議からの提言や総合計画審議会からの答申などをもとに、「後期基本計画」を策定する。政府は「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、各省庁では「推進本部」を設置したことから、国の動向などを注視しながら、<u>人口減少対策を目的とした庁内検討組織の設置に向け、検討</u>を行ってまいる。	10 月に美唄未来会議開催。 庁内関係課職員による「人口減少対策検討委員会」設置に向けて検討中。
2 ふるさと納税の仕組みを検討すべきではないか	現在、特産品の送付などの特典合戦が全国的に過熱している状況から、総務省において、適度、適切な範囲にすることも含めて、制度の拡充について検討されると伺っており、これらの状況を踏まえながら、ふるさと納税に関する見直しに当たっては、<u>関係者と連携などを図りながら、来年度に向けて、庁内で十分に検討</u>を行ってまいる。	9/10 企画調整会議 ・特産品の贈呈する目的は、特産品の PR として事務事業(観光振興)に位置づけ、商工観光課で予算計上し、発送業務を行う。 ・財政課は、寄附金受領、礼状発送、実績報告書作成を行う。 ・企画課は、ホームページ、広報紙メロディーに掲載、PR ポスターの作成を行う。
【決算審査特別委員会(倉本議員)】 1 公有財産解体後の土地の管理や処分、有効な利活用に向けた庁内検討組織の設置が必要ではないか	庁内検討組織を設置する。	H26.8.1 美唄市ストックマネジメント推進検討職員会議を設置。同会議を 10 月に開催予定。
2 避難所開設時の開錠及び準備について管理者などとの協議はどの様になっているのか。 (決算特別委員会：倉本議員)	国や道からの避難所開設マニュアルの指針などを参考に策定し、施設の管理者や管理人と協議してまいりたい。	今年度中にマニュアルを準備し、避難所 49 か所の管理者と協議したい。

平成 26 年第 3 回市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
産業・厚生常任委員会 (倉本委員) ・議案第 47 号（廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正の件）に伴い、規則改正の必要性はないのか。	・条例の一部改正についてご承認をいただいた後、関連する規則についても一部改正を行うこととしたい。 (生活環境課)	・年度内を目途に規則改正を行う。
決算審査特別委員会 (倉本委員) ・家族構成や社会情勢の変化により、お墓を個人で管理することが困難になってくるケースが増えてくると考えられる。他市町村でも市民ニーズがあると聞いている。市営墓地における合葬墓の建設予定等について検討は行われているか。	・近隣市等の一部において、合葬墓に遺骨を埋葬する事例があることは確認をしている。市営墓地に合葬墓を建設する計画は今のところないが、市営墓地への合葬墓の必要性について調査・検討して参りたい。 (生活環境課)	1 公営の墓地における合葬墓の事例について詳細を調査。(年度内) 2 調査結果を基に、想定される行政負担額及び、利用者の負担額・利用条件等を整理。(年度内) 3 平成 27 年度上半期を目途に、市民等のニーズ把握を行う。(各種団体等の総会や役員会等を利用してアンケート調査の実施を予定) 4 ニーズが多いと認められる場合は、庁内協議を踏まえ、27 年度中に整備計画を策定する。

平成 26 年第 3 回市議会定例会における主な課題と対応

保 健 福 祉 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1. 高齢者のボランティア （地域活動）ポイント 制度の推進について （一般：本郷議員）	・全国の事例を調査するとともに、先進地の苫小牧に伺った結果、多くの課題も見えてきた。今後は更なる高齢化や、独居世帯が見込まれ地域での生活に支援が必要となってくることから、仕組みづくりについて調査研究していきたい。	・現在、調査研究中
2. 子宮頸がんワクチンの 被害者へ、支援策（医 療費負担）を差し伸べ るべきではないか。 （決算：谷村議員）	・横浜市で6月1日から実施しており、どの様な方法で支給しているか、職員を派遣し、内容を確認、お聞きをし、年内中に結論を出したい。	・現在、10月に横浜に出向き、聞き取りを行うため、調整中。

平成 26 年第 3 回市議会定例会における主な課題と対応

経 済 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
・国の農業・農村政策に左右されない水田農業経営の確立にどのように取り組んでいくのか。 (五十嵐議員) ・低タンパク小麦生産に向けた対策にどう取り組むのか。 (五十嵐議員)	・水稻の作付面積の維持・確保に向けて、生産者や関係機関・団体と連携して水稻直播栽培や飼料用米に関する課題解決に取り組む。 ・早期は種による越冬前の葉数確保や起生期における増肥など肥培管理の徹底により安定的な収量と品質の向上を目指す。	・10月から農協・普及センターと対策等についての協議をはじめ、年内を目途に一定の方向素案をまとめる。 ・は種終は9月20日までを指導し、稲刈作業、降雨等があったが概ね実施された。 ・来春の起生期での増肥を指導強化する。

平成 26 年第 3 回市議会定例会における主な課題と対応

都市整備部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
空き家の多い団地については、冬の除雪や草刈りなど周辺の居住環境が良くない状況にある。 団地内での住替えなどで入居住宅を集約することも考えられますが、こうした団地の今後の計画など考えを伺う。 (吉岡議員 一般質問)	既存入居者の他の公営住宅への住み替えについては、同居者の人数の増減及び加齢や病気により日常生活に支障を来たす場合など、公営住宅法施行令による特別な事由によるものを除き、認められておりません。市としては、こうした経年により老朽化の著しい団地につきまして、建物の状況を調査するとともに、入居されている方々の意見なども伺う。	「美唄市公営住宅ストック総合活用計画」を見直すに当たり、各団地の周辺環境や建物の状況を調査する。
LED化を行うことで町内会と市の電気料金が縮減されることから、LED化の実施に向けての対応を伺う。 (土井議員 一般質問)	長期的に維持管理費の縮減に努めていくことが重要課題であると考えている。アンケート調査の結果を踏まえ、町内会の負担や財源確保を含め調査研究を進める。	LED灯の設置を計画的に実施。(予算の確保)

平成 26 年第 3 回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

	質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1	栄幼稚園の安全対策をどのように考えているのか。(一般質問:本郷議員)	現在、緊急時に外部と連絡を取るシステムの検討をしている。	栄幼稚園・NP0 法人アルテピアッツァびばい・市教委でシステムや連絡系統について、年度内を目途に検討。
2	就学援助制度における新 3 項目（クラブ活動費・生徒会費・PTA 会費）について、保護者の負担の実態を調査し、実施に向けて取り組むべき。 (決算特別委:吉岡議員)	新 3 項目について、保護者負担について調査する。 今後も、国への予算措置の要望を継続しつつ、予算化に向けて努力したい。	10 月以降～各学校に新 3 項目の保護者負担額を照会・調査し、これをもとに予算化に向けて協議していく。
3	学校図書館に新聞の配置を進めるべき。 (決算特別委:吉岡議員)	小中学校の新聞配置については、普通交付税措置があり、これまでも、予算編成作業の中で議論してきている。今後も予算化に向けて努力する。	予算化に向けて協議していく。
4	中学校弁論大会の出場者数を増やせないか。 (決算特別委:森川議員)	学校の課業時間内に終わらせるという制約があるが、担当の教研協に検討させる。	来年度に向け、教研協国語部会に検討させる。
5	体育センターのトイレ改修を急ぐべきではないか。冬までにできるのか。 (決算特別委:倉本議員)	早急に対応したい。	道教委の同意を得られたので、改修を行うべく早急に準備を進める。
6	図書館の 3 歳児ブックスタート事業における未配布者に対する配布率向上策は。 (決算特別委:吉岡議員)	未配布分については、今後も事業の案内など、あらゆる機会を通じて、周知徹底を図りながら、配布できるよう取り組む。	これまで図書館の「おはなしの会」で配布していたが、本年 10 月からは保健センターの 3 歳児健診時に配布を行う。

平成 26 年第 3 回市議会定例会における主な課題と対応

病院事務局

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
市民との信頼関係を築くため、意見を聞くための方策など、具体的な取り組みについて伺う。(倉本委員)	市民の方から頂くご意見について、公表に向けて検討することとしております。	・職員ワークショップで調査、検討（11月まで） ・運営会議にて決定（12月） ・2月を目途に実施